

連携協働通信「架け橋」

令和 7 年 12 月 12 日

横浜市教育委員会 学校支援・地域連携課 発行 NO. 47

各学校や地域における地域学校協働活動の推進を目的に、地域と学校の連携・協働に関する情報を発信する連携協働通信「架け橋」を発行しています。当課の Web サイトでもご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kosodate-kyoiku/kyoiku/sesaku/chikikirenkei/gakkoushien.html>

学校運営協議会委員及び学校・地域コーディネーター及び教職員合同研修

10月21日（火）、10月28日（火）に、学校運営協議会委員、学校・地域コーディネーター、教職員を対象とした合同研修を実施しました。具体的な活動事例として、今回は、新井中学校と新吉田第二小学校の学校運営協議会や地域学校協働本部の取組についてご紹介いただきました。

新井中学校（竹内校長、学校運営協議会会長の高橋様、学校・地域コーディネーターの稲澤様）からは、新井中学校のこれまでの地域との歩みや取組、連携や関わりについて具体的に紹介いただきました。キャリア教育という視点で企画・運営している「“夢”応援プログラム」の具体的な紹介や地域学校協働本部と関わる教員へのインタビュー動画など、詳しい活動のお話をいただきました。



新吉田第二小学校（板橋校長、学校運営協議会会長の奥村様、学校・地域コーディネーターの新関様）からは、協議会委員の皆さんと協働連携して教育活動を展開するための工夫について「全教職員と熟議」すること、協議会の「取組」、学校・地域コーディネーターとしての「つながりや大切にしていること」の3点について具体的に話をいただきました。

その後、2校の紹介を踏まえ、参加者の皆さんでグループ情報交換を行い、それぞれの活動について協議を深めました。

今回の研修は、多くの取組を進めていただいている小学校、中学校、学校・地域コーディネーター、学校運営協議会に事例報告としてお力添えを頂きました。事例に基づき、必ずこのようにやらなければならないというものではありません。今回の事例から、自校に何か活かせることや今後取り組みたいことの参考にさせていただきたいと考えています。活動を進めていく中で、何かありましたらいつでも学校支援・地域連携課にご連絡ください。

2校の実践発表より抜粋

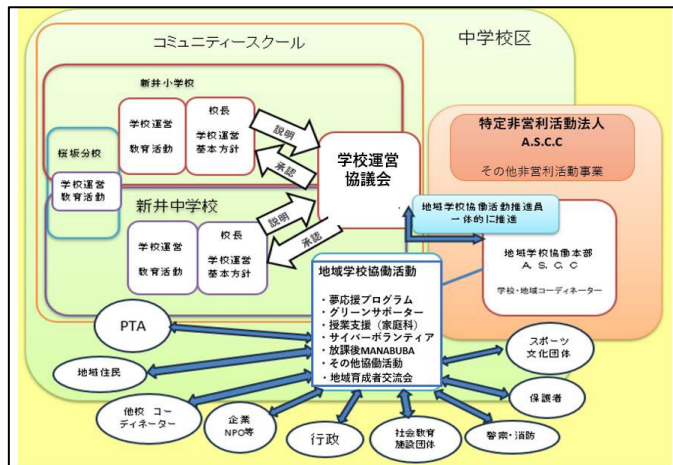
＜新井中学校 学校運営協議会・地域学校協働活動の取組＞ 「横浜市における地域と学校の連携・協働の推進」

1 学校運営協議会の歩み（令和2年度～令和5年度の取組）

昭和 52 年 4 月 1 日	横浜市立新井中学校開校する
平成 19 年 12 月	学校・地域コーディネーター活動開始
令和 4 年 10 月 1 日	学校運営協議会設置
令和 8 年度	創立 50 周年



2 地域学校協働本部について



3 「夢」応援プログラムについて

「夢」応援プログラム（平成19年度～）

- ・少人数で体験できるように複数の講座を開講
- ・生徒の希望を優先した講座申し込み制
- ・座学だけでなく実習のワークショップ形式、職業観や社会の一員としての意識を持てる内容



はじめは、卒業前の中学3年生対象

⇒ 現在は、近隣小学校6年生と中学1年生対象

『小中合同夢プログラム』

※中学3年生は、18歳成人を意識した講座を全員が受講

※中学2年生は、学校の外での職業体験



4 新井中学校での連携協働のポイント

【学校（職員）】

- ①環境づくり（人・もの・予算）
- ②チーム学校：学びの協働者（目的共有と感謝…仲間意識）
- ③活動の教育的価値づけ（教育課程との…成果を共有）

【学校運営協働本部】

- ・コーディネーターとして
- ①コミュニケーションは大切（伝える&伝わる 情報交換と感情の共有）
- ②ふだんからアンテナ高く（ニーズと資源をつなぐ…情報収集）
- ③ポジティブ思考で活動（周囲に感謝と自分も楽しむ）
- ④できることを「今」できる人が活動（責任ある役割分担で継続）
- ⑤記録を残してふりかえりをする（見える化と目的の再確認とスクラップ&ビルドの検討）



5 まとめ

まとめ

お問合せ：ascckohama@yahoo.co.jp

◆**地域学校協働活動「夢応援プロジェクト」**
「豊かな学び・社会につながる学び」

- ・小6と1学年の合同で選択制で企業団体の体験プログラムを企画運営。
- ・2学年の職場体験先の紹介
- ・3学年の卒業期に「夢応援プログラム～卒業していく君たちへ」を実施
- ・地域の人材サポーター調整：家庭科支援とグリーンサポーター活動
- ・放課後等MANABUBAの実施
- ・ほごがやこども未来プロジェクト
- ・生徒ボランティア活動
- ・神奈川県警察 サイバーボランティア活動
- ・新井中学校ブロック子ども会議に出席

つぶやきからの活動（一部掲載）

- ・企業貢献事業と文化祭
- ・漢検/数検 ・Wi-Fi拠点
- ・給食メニュー考案お弁当作り
- ・折り紙プロジェクト
- ・マナー講座・人権研修講師紹介

「学校教育活動の理解と地域の声を知る」

学校運営協議会の内容をふまえて…

- ・地域学校協働活動：地域育成者交流会の実施
- ・学校家庭地域連携事業：地区懇談会
あらいチャレスポ！

◆**学校運営協議会と地域学校協働活動の一体的実施**
～合言葉は「横浜で一番アットホームな学校」～





学校運営協議会委員に地域学校協働活動推進員2名が委嘱され、地域学校協働本部が先に設置されていたので、初年度は活動状況や課題を協議会で報告することからはじめた。


2年目から「持続可能なまちづくり」の視点で活動の成果を評価し、可視化する役割を学校運営協議会がもつことで、学校教育の理解と運営参画を地域にも求めることで、学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的推進に向けて進みだした。地域交流会や地区懇談会など地域と学校が話し合いの場（熟議）をつくり、「誰にとっても居心地の良い学校」として、生徒・職員、保護者、地域住民の「ウェルビーイング」に向けて取り組む。

今後は「職員の働き方」「いじめ」についても自分事として話し合いの場を広げていきたい。

<新吉田第二小学校 学校運営協議会・地域学校協働活動の取組> 「学校・地域・保護者はパートナー」

1 これまでのあゆみ

1年目	2年目	3年目	4年目
			
全教職員と 信頼関係を築く	施設や職種を 理解し役割を把握	全児童との 交流を深める	協働に重点を 置き、臨時学校 運営協議会開催



3

①全教職員と熟議

全教職員と熟議

1部(コア職員)

現状と課題の共有

コア職員で熟議

3部(全教職員参加)

グループ発表

全教職員で熟議

学校・地域・保護者の協働・連携を深める

全教職員と熟議	
グループ熟議の実施方法とその効果	
工夫	内容
テーマ設定	授業参観の感想、学校方針など
グループ発表	話し合った内容を全体で共有
委員の配置	毎回グループを変更し均等に交流
時間配分	短時間でも密度の高い対話を重視

【取組方針】

【成果】

- ①情報交換会→校長先生から学校の現状について協議員へ情報共有。
②授業参観→子どもたちの様子を実際に見学。
③先生たちとの交流→先生たちとグループディスカッションすることで情報交換。

※協議会は、先生たちを応援している意思を共有。

子どもや先生、協議員での交流は実施できたが、保護者のサポートが不足している。

→共働き世帯が増加し、PTAの組織の在り方を見直す時期に来ている。

※PTA 役員の負担が増えている。

保護者の負担も多く、「PTAはムダ」「PTAはやりたくない」という後ろ向きな議論になっている現状がある。

→ただここでも、「子供は地域の宝」ということを念頭に置き、PTAが前向きな気持ちで組織改善していけるようにサポートしていく必要がある。

※今一度、学校・保護者・地域が一丸となって、子どもたちの成長をサポートしていく協
議会の運営を目指していきたい。

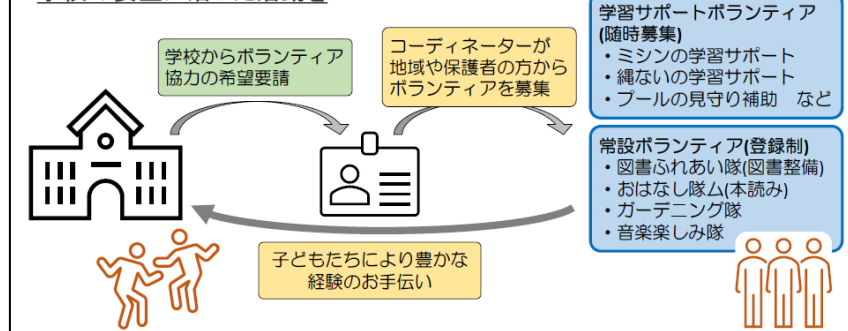
～保護者と教員の連携が日常～



中休みミニライブ

ある日の中休みの様子です。保護者と教員で即席ミニライブを行いました。経験者の教員や飛び入り参加の保護者など、特異を安心して出してよいところも当校の特色です。
このように、日常から保護者と教員が連携して、子どもたちの学校生活がより豊かになることを目指しています。

・学校の要望に沿った活動を



学校・地域コーディネーターの心構えとして大切にしていることは、学校の要望に沿った活動を行う点です。

本校のボランティアは、①「随時募集する学習サポートボランティア」と②「登録制の常設ボランティア」のグループがあります。

～保護者や地域の方とのつながり～

中休み七イベント(図書ふれあい隊)



令和6年度7月

朝タイム本読み活動(おはなしタイム)



令和7年度7月

～地域企業とのつながり～

学校花壇整備(ガーデニング隊)



月に一度、朝タイムに、1～3年生へ向けて保護者による読み聞かせ活動を行っています。子どもたちも楽しみにしている時間の一つで、毎回たくさんの感想を伝えてくれます。

～子ども自身が楽しんで学ぶ～

地域夏祭り音楽ステージ参加(音楽楽しみ隊)



お父さんやお母さん、先生たちが一緒に演奏している姿を見て、地域の人たちの仲がとても良いなと感じました。(地域広報誌より)

みんな仲良し私の地域

横浜市立新吉田第二小学校4年

私は地域の祭りに行ったとき、たくさんの方が支え合っていることに感動しました。その中でも、祭りのミニライブのコーナーでお父さんやお母さん、先生たちが一緒に演奏している姿を見て、地域の人たちの仲がとても良いなと感じました。

他にも他の小学校や中学校の人たちも参加していて、盆踊りのときに地域の人みんなで輪になってお互いに踊りを教え合っている様子を見ました。私の地域は年齢に関係なく、みんなで仲良く交流できる素晴らしい地域だと思います。

「できる人がやる」「楽しく活動する」「次につなげる」

研修振り返り（自由記述）

（アンケートより抜粋）

- ・中学生のキャリア教育が充実している内容で参考になった。「どのように関わっていけるか」を振り返っていきたい。また、新井中学校のA.S.C.Cの活動が教職員の負担軽減になっているという点は、素晴らしく参考になった。
- ・中学校でも、これほど地域から手厚いサポートがある地域があるのだと驚いた。大人の優しさが子どもたちに伝わり、また、その子どもたちから次の世代へ…と、つないでいったら素敵だなと感じた。
- ・学校とのかかわり、PTA とのかかわり、地域とのかかわり、すべてを上手くやっていくのは大変だが、工夫をしながら皆さんが、がんばっている話を聞けて良かった。
- ・自分の学校もこれでいいんだと安心する部分と参考になることがたくさんあった。
- ・中学校、小学校で内容の違いはあったが、学校と学校運営協議会とコーディネーターが密に関わり合おうと努力されていることがすごいと思った。
- ・（自校が）大規模校で色々できないが、他校の取組に学んで、協議会や学校運営に生かしたい。
- ・取組については、それぞれの学校の立場や特徴があると思うので、自分の関わっている学校で参考になるところをお伝えしていきたいと思った。

学校・地域コーディネーター研修・交流会② 報告

11月13日（木）に、学校・地域コーディネーターの皆様を対象に今年度2回目の研修・交流会を実施しました。

研修では、

○地域学校協働活動推進員として学校を知る

・生きる力を育む…食育とは ・「教職員の働き方改革」と地域学校協働活動

○ワークショップを通じて、参加者同士の交流や情報交換をすすめる

をねらいとして、講師の横浜市学校・地域コーディネーター連絡会 高橋様の進行のもと行いました。

教育委員会事務局より、学校給食・食育推進課から「これからの食育×地域×学校」についてと教育政策推進課から「教職員の働き方改革」についてお話をいたしました。

「これからの食育×地域×学校」については、食育を通して育む力や内容を知り、地域でどのようなことができそうか、考えるきっかけとすることを目的とし、そもそも「食育」とは、どのような内容なのか、また、横浜市立学校で行っている食育の内容についてなどをお話いたしました。また、その後、「地域の方や企業等と学校が、ともに食の問題解決ができる機会があるか」につ

いて、グループで情報交換を行いました。

「教職員の働き方改革」については、働き方改革の目的や横浜市の現状と方向性、国の方向性、事例紹介、今後の取組などをお話いたしました。その後、これらの話について参加者からの質問やご意見をいただきました。

当日配付した資料は、12月中にHP上にアップしますので、横浜市HPからすべて御覧いただくことが可能です。ぜひ、校内の学校・地域コーディネーターの方とも共有し、今後の活動につなげていただけたら幸いです。



後半のグループ協議では、所属されている学校の地域学校協働活動の取組についてや、前半お伝えした「食育×地域×学校」や「教職員の働き方改革」について、幅広く情報交換を行いました。共感の声や笑顔もたくさん見られるグループ協議となり、活発な意見交換が行われていました。また最後には、それぞれのグループで出したことを共有しました。その中では、グループを超えて参加者全体に質問をし、それに対して他のグループの方が経験や実際に行っている活動を紹介する場面もありました。協議を通して、参加者のみなさんが今後の活動に向けての見通しをもったり意欲を高めたりすることができた様子でした。

来年度も学校・地域コーディネーターの方がこれまでの活動を振り返ったり、今後の取組について考えたりしていくことができるような研修・交流会を計画、実施していきます。



振り返り

(アンケートより抜粋)

- ・他校での同じ悩みを聞いたり、素敵な取組をたくさん聞いたりすることができ、参考にしたいと思いました。
- ・給食や食育についてあまり深く考えることはなく、具体的な取組はなかった。全員給食が（中学校で）定着することをきっかけに、コーディネーターが関われる取組について検討してみたい。
- ・先生方の業務はとても多岐に渡り、かつタスクがすごく多いと感じましたし、それを保護者や学校をとりまく地域の方々にもしてもらうにはどうしたらいいのだろうと思いました。
- ・持続可能なことを考え続けることの大切さ、卒業生を巻き込む進め方、続けていくためには、やり方や形を変えていくことの必要性など、本当に多くのことを学びました。
- ・地域の学習支援がいろいろな形でなされているので、それが教職員の負担軽減に役立っているとうれしい。もっとこちらに依頼してもらえれば動けると思う。今までにない、トピックだったので興味深かった。この2つの課題をコーディネーターとして可能なこと、助けられることがないか考えていきたい。
- ・先生方の健康や安定した生活が、子ども達への教育に反映される事が理解できた。地域コーディネーターとしてできることはないか考えてみようと思った。
- ・初めての研修会参加でしたので、参考になる話が多かったです。こんな風に横のつながりを作っていけばいいのかということもわかりました。ありがとうございました。

学校運営協議会の設置や合同・単独への変更について (学校向け情報)

	学校運営協議会 設置や合同・単独への変更の機会
設置日	令和8年4月1日
申請書提出の締切日	令和8年2月中旬

○申請の際は、設置申請書と名簿を合わせてご提出をお願いします。

※現在、単独設置の学校運営協議会を、複数校による合同協議会に切り替える場合、また複数校から単独での協議会をご検討の場合、以下の点にご注意ください。

- ①新たに単独または合同で立ち上げるまでの間、既存の学校運営協議会の設置校であり続けます。
- ②合同協議会または単独の協議会への移行について委員への丁寧な説明が必要です。
- ③協議会移行の際は再度、申請書と名簿の提出が必要になります。

※設置や合同・単独への変更に向けてお困りの際は、学校支援・地域連携課にご連絡ください。

令和8年度

学校・地域コーディネーターの配置について

学校運営協議会と同様に、地域と学校を繋ぎ、総合調整を行う「学校・地域コーディネーター」の配置も継続して進めています。

令和7年度も102校の学校から139名の受講者が「学校・地域コーディネーター養成講座」を受講しています。うち4校から新規の学校・地域コーディネーターが推薦されました。

現在横浜市では470校に学校・地域コーディネーターが配置されています。

「学校・地域コーディネーター」は学校長の推薦が必要で、学校長の推薦を受けた方に、年間5回の「学校・地域コーディネーター養成講座」を受講していただいています。来年度の推薦に向けて新しく学校・地域コーディネーターの配置を考えている場合は推薦のご準備を進めていただけるとありがたいです。

また、複数人配置することで活動が活発になることも考えられますので、お仲間を増やすこともご検討ください。一度に複数名の推薦も可能であり、複数名での養成講座への出席も可能です。推薦は、令和8年3月中旬より開始予定です。推薦をもって6月より開始される学校・地域コーディネーター養成講座の受講が可能となります。どうぞよろしくお願いいたします。

何かお困りなことがありましたら、いつでもご相談ください。

学校支援・地域連携課 671-3278